

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり21.4人の報告があり、多い状況が続いています。今後、さらに流行が拡大する可能性があるため、注意が必要です。

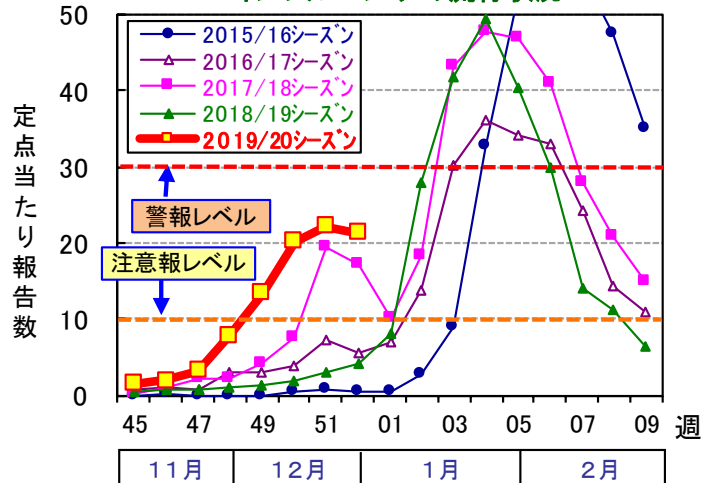
十分な休養とバランスの取れた食事を心がけ、流水・石けんによる手洗い、咳エチケットの励行、適度な湿度(50～60%)の保持、人混みへの外出は控えるなどインフルエンザ対策を徹底しましょう。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり7.42人の報告がありました。また、感染性胃腸炎の集団発生が1件報告されています。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、特に冬季に流行するため、注意する必要があります。(次頁参照)

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均（注） 過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均（注） 過去5年間	発生記号
フィリ	インフルエンザ	792	21.41	10.37	⇒	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.44	
小児科	咽頭結膜熱	12	0.50	0.29			RSウイルス感染症	7	0.29	0.70	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	50	2.08	2.12	⇒	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	178	7.42	10.84	↔		流行性角結膜炎	3	0.38	0.58	
	水痘	11	0.46	0.70		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	7	0.29	0.47			無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	18	0.75	0.37	↔		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.23	
	突発性発しん	8	0.33	0.37			クラミジア肺炎（オウム病を除く）	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.03			感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-	0.14	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	148	男性(60歳代)
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	18	女性(50歳代)・O157・市外
5	ジアルジア症	1	1	男性(40歳代)
5	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	3	男性(10歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	27	女性(40歳代)
5	梅毒	1	74	女性(30歳代)
5	百日咳	3	95	男性(10歳未満)、男性(10歳代)、女性(10歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 レンサ 球菌咽頭 炎	感染性胃 腸炎	水痘	手足口 病	伝染性紅 斑	突発性発 しん	ヘルパン ギーナ	流行性耳 下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジ ア肺炎	(ロタウイ ルス)	感染性胃 腸炎
報告数	広島市	第48週	295	11	42	134	11	7	21	8	3	-	18	-	3	-	-	-	-	-	-
		第49週	496	8	45	134	7	4	15	5	3	-	7	-	4	-	-	1	-	-	-
		第50週	748	17	42	153	9	11	13	8	1	2	7	-	5	-	-	-	-	-	-
		第51週	822	12	51	198	10	8	20	6	-	1	10	-	7	-	-	2	-	-	-
		第52週	792	12	50	178	11	7	18	8	2	1	7	-	3	-	-	1	-	-	-
定点当 たり	広島市	第48週	7.97	0.46	1.75	5.58	0.46	0.29	0.88	0.33	0.13	-	0.75	-	0.38	-	-	-	-	-	-
		第49週	13.41	0.33	1.88	5.58	0.29	0.17	0.63	0.21	0.13	-	0.29	-	0.50	-	-	0.14	-	-	-
		第50週	20.22	0.71	1.75	6.38	0.38	0.46	0.54	0.33	0.04	0.08	0.29	-	0.63	-	-	-	-	-	-
		第51週	22.22	0.50	2.13	8.25	0.42	0.33	0.83	0.25	-	0.04	0.42	-	0.88	-	-	0.29	-	-	-
		第52週	21.41	0.50	2.08	7.42	0.46	0.29	0.75	0.33	0.08	0.04	0.29	-	0.38	-	-	0.14	-	-	-
	全国	第50週	15.62	0.80	3.55	6.60	0.68	0.83	0.61	0.36	0.08	0.07	0.51	0.01	0.59	0.03	0.04	0.44	-	-	0.01
		第51週	21.22	0.77	3.72	7.46	0.63	0.70	0.63	0.33	0.07	0.08	0.54	0.01	0.64	0.01	0.04	0.47	0.01	-	0.01

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.0)	8	男	2019/11/24	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
感染性胃腸炎	嘔吐 下痢	1	男	2019/10/22	糞便	ハレコウイルス1型 サホウイルス
流行性角結膜炎	結膜充血 眼脂 痒痒感	31	女	2019/10/23	結膜擦過物	アデノウイルス56型
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 気管支炎 肺炎	1	女	2019/11/09	咽頭拭い液	ヒメタニューモウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

● ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意しましょう ●

【予防のポイント】

◆ 手洗いの励行

調理や食事の前、トイレの後は、流水と石けんでしっかり手を洗いましょう。

◆ 食品の十分な加熱

二枚貝等ノロウイルス汚染のおそれのある食品は、中心部まで十分加熱(85～90℃で90秒間以上)しましょう。

◆ 調理器具などの消毒

調理器具などは、洗剤を使用し十分に洗浄した後、次亜塩素酸ナトリウム(*)または熱湯で消毒しましょう。

◆ 便・吐物の適切な処理

患者の便や吐物には大量のウイルスが含まれていますので、処理の際には手袋やマスクを着用し、次亜塩素酸ナトリウム(*)で消毒しましょう。

* 次亜塩素酸ナトリウムを含む家庭用の塩素系漂白剤でも代用できます。使用に当たっては「使用上の注意」をよく読んで、適切な濃度に希釈して(薄めて)から使用しましょう。

【参考】ノロウイルスに関するQ&A(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2019年第52週(12月23日～12月29日)